

「「どう生きるか」と「どう死ぬか」の違い？」

スイッチON！！日本が安全という神話が大きく崩れた瞬間でした。。安倍元首相の衝撃的な死。ドラマやテレビの中でのフィクションが、現実に行われ個人の蛮行が、社会を揺さぶるという日本の政治や未来を汚した瞬間。。。怒りと喪失感と不安と。。たくさんの感情が押し寄せた選挙期間中でした。。

夢を語り理想を語り、リーダーシップを取る人間にとって、決して許してはならないテロ行為であると強く非難したい！

さて、人間の脳は、その人の脳にインプットされている「前提条件」で動いている。ゆえに、「どう生きるか？」と「どう死ぬか？」という「脳の前提条件」の違いによって人の答えは変わってくる。

今の時代の日本人は、77年前の戦争時代の日本人とは違い、『命を取られる様な事はないだろう』と多くの人は考えている。

自分は、明日も生きていだろうと言う「素晴らしい錯覚」が脳を支配している。この脳の錯覚が、変なプラス思考やマイナス思考を生み出している。

例えば、不満とは、明日もきっと生きていっていると思っている人間の脳から生まれる。

「明日は生きていないかも知れない」と思っている人間の脳からは不満は生まれない。それどころか、これまで育ててくれた親に対して感謝の感情が発生したりする。

今、多くの日本人に「幸せそうで不幸な人」が増えている。実は、真のプラス思考とは、脳のマイナス思考から生まれてくる。

ということは、
脳に何が条件つけされているかにより、人生が変わる。
あなたの、絶対の愛！絶対の信念！絶対のプラス思考は、全て脳の条件づけで作られる。

全ての秘密は、あなたの脳にある。
失敗が条件づけされている人は必ず失敗し、成功が条件づけされている人は必ず成功してしまう。

感情をコントロールして生きていくという錯覚が、その奥には、脳をコントロールすることを知る必要がある。自らの発信している脳の前提条件に気づかないといけない。

介護という仕事を通じて、自らの死生観「どう死ぬか」これを考えるきっかけの時間はたくさんある。家で死ぬのか施設で死ぬのか。自らの死をデザインし脳に自らの前提条件を上書きしていかなければ、気づかないうちに脳による司令が結果を変えているのではないだろうか。

